

平成29年1月5日

西村友志議長

海住恒幸、深田龍、西口真理

## 報告書

グループ「臯」として参加している4回目の議員力研究会が、平成28年12月24日に名古屋市内で開催されました。3議員で参加してきましたのでご報告します。

### 記

研究会名称 第4回議員力研究会

日時 平成28年12月24日午後1時～5時

場所 名古屋市那古野コミュニティセンター2階会議室

研究会参加メンバーは、愛知県瀬戸市、日進市、東浦町、飛島村、岐阜県恵那市、各務原市、奈良県生駒市、三重県松阪市(松阪市議会のみ複数議員)の計10人の議員です。昨年2月に準備会を開催ののち、定例会と定例会の谷間の時期を中心に実施しています。毎回、担当(2～3人)を決め、自分の行った一般質問を持ち寄って報告、参加メンバーより意見をもらったり質問を受けたりしています。毎回、一般質問のほか、共通のテーマを決め、自治体ごとの状況を出し合い、議論をしています。

#### 1、事例発表(一般質問)

報告者 海住恒幸

12月24日の一般質問の報告者は海住でした。今年度中の活動は、この日が最後で、報告者が一巡するので、この回は残っていた海住のみの報告となりました。取り上げたのは、平成28年9月定例会(10月4日)と11月定例会(12月2日)の2回続けた「『豪商のまち松阪』中心市街地土地利用計画について」です。事前に、研究会で議論をしたい理由、議論したい内容を「整理票」(資料として添付しています。)にまとめて参加者には配布済みではあるが、十分に消化した議論にはできませんでした。参加者にとっては他自治体のことであり、地域的事情も把握できていない中での報告となるので論点を明確にすべきであったが、それができていなかったのと、議事録がまだできていない時期での報告だったので参加者に見てもらうこともできなかったという意味ではテーマ選びに問題があったかもしれません。テーマを他地域の議員とも共通の議

論の土俵に載せるためには、十分な事前準備がなされるべきでしたが、それができないまま、研究会にのぞんだことを反しています。

## 2、意見交換

### (1) 議案（予算案・条例など）の修正提案について

この研究会に参加しているメンバーの大半は、それぞれの所属議会で修正案を提出した経験を持っていました。しかし、いずれも少数会派であるので修正案を可決できることは困難な状況にあります。議論の中で、当研究会の顧問である青山崇氏（議会答弁経験を有する元岐阜県多治見市幹部職員で、議会事務局も経験）からは、「否決されることがわかっていて修正案を出せている現状をどうとらえていくか」という問題提起もありました。珍しいケースとして、瀬戸市では組織機構の改編案について、無会派である研究会メンバーの修正案について議長が協力する意向を示し修正案が可決されそうな形勢となったことから、執行部が議案を撤回するという事態となったということです。また、修正案を出すにあたっての執行部や議会事務局が中立に協力をしてきているかどうかについての状況報告も各議員から行いました。今後、執行部に丸投げするような修正ではなく、議員自ら予算を修正していく力量を身につける研修も実施していこうとの話になりました。

### (2) 議会活動の説明・報告

時間切れで今回は実施できず。

以上